



2024年 5 月10日

各 位



会 社 名 ふらっとホーム株式会社
代表取締役社長 鈴 木 友 康
コード番号 6836 東証スタンダード
問 合 せ 先 取締役執行役員兼管理本部長
福留 正邦
(TEL 03-5213-4376)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年11月10日に公表した2024年3月期通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期個別業績予想数値と実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,055	△ 80	△ 57	△ 62	△ 40.87
実績値 (B)	998	△101	△101	△107	△ 70.59
増減額 (B-A)	△ 56	△ 21	△ 44	△ 45	
増減率 (%)	△ 5.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	994	△ 98	△ 95	△103	△ 75.93

2. 差異の理由

前事業年度に発生した半導体不足による部材供給の滞りは、現時点では解消しつつありますが、大型案件の出荷の遅れはまだ十分に解消されておりません。当社は、コロナ禍と半導体供給問題の経験を踏まえ、これまでのハードウェア中心の事業形態から、ソフトウェア・サービス中心の事業形態への転換を加速しております。現事業領域であるネットワーク事業については、マイクロサーバーに専用アプリケーションを搭載したネットワークアプライアンス製品は、ハードウェア・ソフトウェアだけでなく長期間のサポートサービスも含めて顧客に利用いただいております。当社ではこれを収益化の柱の一つと位置付けて開発と販売の強化に努めております。また、新事業領域であるWeb3事業においても、ソフトウェアやサービスの強みを生かした収益化に取り組んでおります。この取り組みの一つとして、当社のWeb3技術を活用した輸送物流ネットワーク構築の実証実験「日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト(以下、実証プロジェクト)」を、農林水産省の補助金事業として第2四半期から当事業年度末まで実施しました。しかしながら、大型案件の遅れの解消、及びネットワークアプライアンス製品の新製品の展開・拡販に時間がかかっていることから、当事業年度の売上高は998百万円と、前回発表した業績予想に達しませんでした。

損益については、売上高の減少による売上総利益額の減少により、営業利益は前回の業績予想を21百万円下回りました。

また、実証プロジェクトの費用は補助金対象として申請しており、前回の業績予想では補助金収入を23百万円と見積り当事業年度の営業外収益に見込んでおりましたが、最終的な補助金交付額の通知が当事業年度内になかったため、補助金収入は翌事業年度の営業外収益に計上することとなりました。

この結果、当事業年度の経常利益は前回の業績予想を44百万円、当期純利益は45百万円下回る結果となりました。

以上